

山口県がん化学療法指導者養成研修会

「もう一度見直そう!!がん化学療法のチーム医療」開催報告

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局
原田幸恵

平成29年6月24日（土）に山口大学医学部附属病院主催山口県がん化学療法指導者養成研修会がANAクラウンプラザホテル宇部で開催されました。「がん対策基本法」および「がん対策推進基本計画」に基づき企画された研修会で、山口県の各地域におけるがん化学療法の医療レベルのさらなる向上を図るために、各地域の指導的立場にある医療人を対象として企画された指導者養成研修会を実施しております。

当院の吉野茂文腫瘍センター副センター長の開会の挨拶に始まり、医師、薬剤師、看護師、MSWのそれぞれの立場からの講義、職種別・施設別のグループワークが行われました。初めに各施設からは、現状と課題の報告がありました。講義は、まず「適正ながん化学療法の実施について」本院の吉野医師より説明がありました。さらには、「抗がん剤曝露対策時の注意点について」本院の植松薬剤師より、また、「外来がん化学療法を受ける患者の副作用症状マネジメントについて」沖村看護師より講義があり、最後に「高額療養費制度や介護保険などの制度の案内、就労支援について」沼ソーシャルワーカーより分かりやすく説明がありました。

職種別のグループワークでは、各施設の問題点を抽出しあい情報共有した後で、各施設の改善すべき課題に対して解決策を考えて、最後に発表していただきました。研修会全体を通じて様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者からは「中小病院における化学療法時の最低限のルール、責務について再認識する良い機会になった」「他施設と意見交換でき、自施設を振り返るきっかけとなった。PDCAサイクルをまわしながら、改善につなげたい」「自分の職種の役割はもちろん、多職種の役割なども知ることができた。他院の同職種の方と様々な話ができて、横のつながりもできた」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

《研修会風景》

各施設の現状報告



職種別グループワーク



講義風景



修了証書授与

